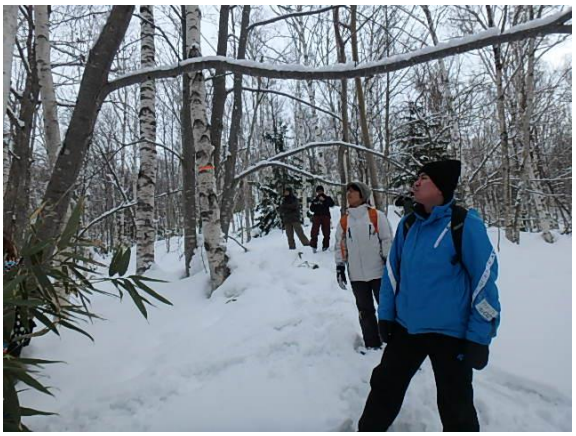
●自然体験⑬

スノーシュー（かんじき）ハイキング

概要

スノーシューをはいて、雪に覆われた森や野原を歩き、木々の冬芽、動物の足跡、鳥の姿や鳴き声など、多くの命を身近で感じることができます



人数

・何名でも

対象

・未就学児～

実施期間

・12 月末～3 月末

※雪不足による変動有

活動場所・所要時間（準備、片づけを含む）

・滝野の森エリア　　1～2時間

・展望台エリア　　2～4 時間

※（別添）エリアマップ参照

※ 所要時間は概算のため、団体の人数、参加者の年齢や体力、計画の内容によって異なる

指導のねらい

・積雪時しか発見できない、冬ならではの魅力を体感する

・スノーシューを履くことで、雪上での歩きやすさを実感する

活動のながれおよび留意点

【事前学習】

①どのような活動にしたいか「目的」「内容」を共有する

②グループ編成を決める

③用具の使い方を調べておく

【当日】

①服装、持ち物の確認や健康チェックを行う

②事務室で無線機を借りる

③物品の貸出（山の家職員立ち合い）

④スノーシューの実施 ※（別紙）参照

（1）集合：多目的ホール、ホワイエ等

（2）スノーシューの受取：乾燥室

（3）スノーシューの装着：くわの実広場、入り口前広場など

（4）出発

⑤物品の返却（山の家職員立ち合い）

※午後4時までに必ず返却をする

準備物品

【山の家で貸出可能なもの】

・スノーシュー

【団体で準備するもの】

・防水、防風性の強いウェア（重ね着をして、暑い場合は脱げるようにする）、帽子、耳当て、スパッツ、手袋、汗拭きタオル、換えの手袋

備考

（別紙 1）

スノーシュー（道具の準備・片付け）

1．道具の準備

始めに乾燥室に行きます。乾燥室の奥にあるスノーシューを持ってスタート場所へ移動します。歩くスキーの貸出しと重ならなければ(在庫があれば)、ストックの貸出しも可能です。その場合は、必ず山の家職員にご相談ください。





2．スノーシューの装着

①スノーシューの左右を確認



②バンド（前・後）を緩め、つま先を入れる



③バンドの両端を引いて締める



④後ろの締め具を引いて、かかとを固定する



※余ったバンドは両端の金具で止めたり結んだりして歩行の邪魔にならないようにしてください。

※スノーシュー（かんじき）の装着は雪上で行います。靴の裏や締め具の雪を落としてから装着してください。

3．道具の片付け

① ハイキング終了地点でスノーシュー（かんじき）をはずし、付いている雪をきれいに取り除きます。

② 乾燥室へ行き、スノーシューを元の場所に戻します。

※破損や不具合があった場合には、速やかに山の家職員にお伝えください。

スノーシュー（滝野の森コース）

森の交流館

滝野の森ゾーンの案内拠点。
スノーシュー、双眼鏡などを
無料で貸し出ししています。
キッズルームや食事が取れる
休憩所もあります。

※レストランはありません。

森見の塔

高さ20mもある滝野の森のシンボルタワー。冬はのぼることができません。

ツリーハウス

外国に来た気分になれる素敵な建物。
中は迷路のようになっていて、
歩くだけで楽しい気分に♪
木のボールの
プールもあります。

森の教室

トイレをご利用の際は、スノーシューをぬいでください。冬は休憩所の利用はできません。

立入禁止区域





この看板の先は、危険ですので
入らないようお願い致します。

オススメの服装





KAZ MAY

● スノーシューハイキング ●
展望台エリア

約2kmのスノーシューコースです。
カラーテープエリア内は、ご自由に散策いただけます。

展望台エリア看板（出入口～F）
（例）

☆スノーシュー☆
展望台エリア Ⓐ
札幌市青少年山の家

